

# 『協働のまちづくり』に 取り組む団体の紹介

PART 20

## 防犯パトロール浜茄子隊

今月は、隊長の吉原保夫さんにお話を聞きました。

### この会が設立された経緯は？

平成18年10月に浜茄子隊を設立しました。設立した経緯は警察署さんの方から、防犯組織の公募があったということもあるんですが、自分の中でも「心が触れあう、安全な町にしたい」という思いがあったので、主旨に賛同してくれた15名で隊を設立し、現在は50名の有志の方々がボランティアで活動してくれています。



八雲小学校の入学式では、毎年、児童と父兄に浜茄子隊の活動を紹介しています。

### どのような活動をされていますか？

「犯罪の無い明るい町づくり」「子どもが安全に暮らせる町づくり」を第一の目的として、日々活動しています。

主な活動としては、道警から13台の車に青色防犯灯の設置許可をもらい、隊員の車に設置してパトロールを実施しています。隊員の中には自営業の方もいるので仕事をしながらパトロールを行っている人もいます。

また、新1年生の子どもたちや父兄の方々に自分たちを知ってもらおうと、八雲小学校の入学式に隊の制服を着て毎回参加しています。

町中で緊急を要することがあったら、防犯灯または防犯ステッカーを貼っている車に声をかけてほしいですね。

その他に、八雲まつりや山車行列など町のイベントの時には、町民がお祭りに参加するため、どうしても市街地からちよっと離れた所では空き

巣などの被害が心配されますので、そういう所を重点的にパトロールを実施しています。

### 活動を通じて感じていること

防犯活動に八雲町町連協などの他団体の協力を頂き、町全体が「防犯」に対しての意識が高まってきているのが実感としてあります。浜茄子隊の一番の目標は、町全体が防犯に対して意識を持つてもらうことであり、そうすることによって、子どもたちが安心して外で遊べる環境、お年寄りが安心して暮らせる環境を作ること、そのことが町づくりにとって一番大事なことでないかと思っています。

### 今後に向けて

隊の活動はボランティアなので、決して強制しないで空いた時間や自営業の仕事の傍ら活動しています。今後も隊員との親睦を図りながら、町全体が防犯に対してより一層意識を高めてもらえるような活動を今後も継続していきたいなと思っています。

「協働のまちづくり」に取組団体の紹介(連載)については今号を持って終了します。

## 法テラス八雲通信 vol.22

### お金は命より重い？

法テラス八雲法律事務所 弁護士 小林 佑輔



■先日、テレビドラマ「相棒」を見ました。息子が事業に失敗し、その借金を返すために、両親が自分たちに生命保険をかけ、心中しようとする場面がありました。結局、右京さんに真相を暴かれ、妻だけが亡くなり、保険金ももらえなかったのですが、われわれ法律家からすると、まず誰でも良いから相談してよ、とフィクションながら思っています。

■そもそも、保証人になつていない限り、息子の借金を親が負担する法的な義務はありません。息子が弁護士に相談し、債務整理を依頼すれば、両親に迷惑をかけずに済んだのです。

■人は、お金のために死ななくてはならないのでしょうか。金は命よりも重い、と断言した漫画がありますが、そうであってはならないと強く思います。

■頭の中が借金でいっぱいの方は、まずは近場の法テラス八雲にご相談ください。場所は、八雲駅前、屋台村のとなり、ピザ屋さんの向かいです。

■当事務所は、森田・小林の2人体制になり、さらに法律相談が可能な時間が増えました。一定の資力基準を満たした方については、お一人3回まで、無料での法律相談も行っています(資力基準の詳細については、お問い合わせください)。(。相談を希望する方はもちろん、相談しようかどうかお悩みの方も「法テラス八雲法律事務所(☎050-33383-8366)」までお気軽に相談予約のお電話をお寄せください。また、「法テラス江差法律事務所(☎050-33383-5563)」でも、ご相談を承っておりますのであわせてご利用ください。